



様式第3号

身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

氏名	明治・昭和 大正・平成	年 月 日生()歳	男・女
住所			
① 障害名	呼吸器機能障害		
② 原因となった 疾病・外傷名	交通, 労災, その他の事故, 戦傷, 戦災, 疾病 先天性, 震災, 震災以外の天災, その他()		
③ 疾病・外傷発生日	昭和 平成	年 月 日・場所	
④ 参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）			
障害固定又は障害確定（推定） 昭和・平成 年 月 日			
⑤ 総合所見（障害の程度を詳細に記入。）			
[将来再認定 要（軽症化・重症化）・不要] [再認定の時期 年 月]			
⑥ その他参考となる合併症状			
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。			
平成 年 月 日			
病院又は診療所の名称			
所在地			
診療担当科名	科	医師氏名	印
身体障害者福祉法第15条第3項の意見 [障害程度等級についても参考意見を記入]			
障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に			
・ 該当する (級相当)			
・ 該当しない			
注意 1 障害名には現在起こっている障害、例えば両眼失明、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、角膜混濁、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。			
2 障害区分や等級決定のため、兵庫県社会福祉審議会から改めて照会する場合があります。			

呼吸器の機能障害の状況及び所見

(1) 身体計測

(該当するものを○でかこむこと)

身長

cm

体重

kg

(2) 活動能力の程度

ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。

イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。

ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。

エ 平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。

オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

(3) 胸部エックス線写真所見 (平成 年 月 日)

ア 胸膜癒着 なし・軽・中・高

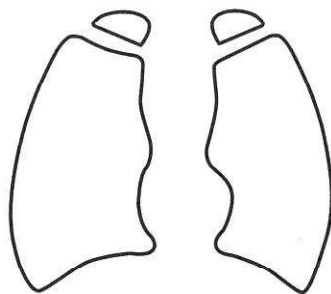
イ 気腫化 なし・軽・中・高

ウ 線維化 なし・軽・中・高

エ 不透明肺 なし・軽・中・高

オ 胸郭変形 なし・軽・中・高

カ 心・縦隔の変形 なし・軽・中・高



(4) 換気機能 (平成 年 月 日)

ア 予測肺活量 . L (実測肺活量 . L)

イ 1秒量 . L (実測努力肺活量 . L)

ウ 予測肺活量1秒率 . % ($=\frac{1}{ア} \times 100$)

(アについては、下記の予測式を使用して算出すること。)

肺活量予測式 (L)

男性 $0.045 \times \text{身長(cm)} - 0.023 \times \text{年齢(歳)} - 2.258$

女性 $0.032 \times \text{身長(cm)} - 0.018 \times \text{年齢(歳)} - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

(5) 動脈血ガス (平成 年 月 日)

ア O₂ 分圧: . Torr (注)

イ CO₂ 分圧: . Torr

ウ pH : .

エ 採血より分析までに時間を要した場合 時間 分

オ 耳朶血を用いた場合: []

(注) 数値は安静時、通常の室内空気吸入時のものであること。

なお、酸素吸入中の数値しか得られない場合は、参考値として、酸素流量及び酸素投与の方法、人工呼吸器使用時にはその設定等を記入すること。

酸素吸入中での実測値: . Torr

酸素流量: L/分

投与方法: 鼻カニューレ・マスク・人工呼吸器・その他 ()

[人工呼吸器の設定及び使用時間
挿管下・非挿管下・使用時間: /日]

(6) その他の臨床所見